

IMMIGRATION

フォームI-9に関する最新状況 - L1およびE1/E2の方の配偶者は、EADなしで就労可能 - 本当でしょうか？

by Kathleen Campbell Walker

多くの会社が従業員の人手不足に悩む状況が続いているなか、米国税関・国境警備局(CBP)と米国民権・移民局(USCIS)は、2021年11月12日、Sherrill, et. al. v. Mayorkas訴訟を和解(litigation settlement)で終結することとしました。この和解案により、L-1ビザ駐在員の配偶者(L-2ビザの方)およびE-1/E-2ビザ駐在員の配偶者は、EADカード(就労許可証)を取得せずとも、主たる駐在員の配偶者の「地位に付随して」就労することが認められることとなります。本記事では、このL及びEの扶養配偶者に関するルール変更に焦点を当ててみます。

この和解を受けて、2022年1月31日、米国税関・国境警備局(CBP)のSystems Enforcement Analysis and Review (SEAR)オフィスは、CBPがEおよびLの駐在員の配偶者に労働許可があることをI-94の注書きに記載して識別するため、以下の新コードの使用を開始したと発表しました。

新たに承認された入場区分(COA)コードとは何でしょうか？

E-1S – E-1の配偶者 E-1Y – E-1の子供
E-2S – E-2の配偶者 E-2Y – E-2の子供
E-3S – E-3の配偶者 E-3Y – E-3の子供
L-2S – L-1AまたはL-1Bの配偶者
L-2Y – L-1AまたはL-1Bの子供

なお、米国民権・移民局(USCIS)は、米国内でのLまたはEの配偶者へのステータス変更を承認するI-797承認通知の下部に添付されるI-94においても、これらのコードを使用しています。

私はEまたはLの配偶者で、この新しいコードの注釈付きI-94を持たずに米国に滞在しています。どのようにしてコード付きのI-94を入手できますか？

SEARの職員によれば、新しいコード付きのI-94を必要とする者は、一度米国を出国して再入国しI-94を取得しなおさなければならないとのことです。自動再認証システム(automatic revalidation)を使ってメキシコまたはカナダへの30日以内の渡航をした方は、CBPのオンラインI-94ウェブサイト(I-94 website)を通じてコード付きのI-94を取得することができます。また、メキシコまたはカナダから陸路国境で入国し紙のI-94の発行を申請して取得した場合も、コード付きのI-94を受け取ることができます。CBPは、EおよびLの配偶者が米国へ入国しI-94を申請する際に、主たるビザ保持者であるEまたはLの方との結婚を証する書類(訳者注:戸籍簿本と翻訳証明付英訳など)を携帯することを推奨しています。

このコードの注釈付きI-94は、雇用開始時に作成するフォームI-9の記入に使用可能でしょうか？

良い質問です。USCISは、本和解に関連して、ポリシーマニュアルの第10巻第2章(Volume 10, Chapter 2)を変更しました。ポリシーマニュアルには、「2021年11月12日より、USCISはE-1、E-2、E-3、L-2の扶養配偶者の雇用はステータスに付随して許可されたものとみなす」と記されています。しかし、このポリシーマニュアル変更においては、フォームI-94に単にE-1、E-2、E-2C、E-3、E-3D、E-3R、L-2とステータスが記載されただけのI-94では、フォームI-9の**就労許可を示す文書として十分ではない、と述べています**。

フォームI-9記入のためのM-274 Handbook for Employersが更新されたのは、2021年11月16日(updated on November 16, 2021)であり、前述のCOAコードの使用が開始される前でした。この更新は、後述する就労許可の自動延長に焦点を当てたもので、新しいCOAコードの注書きが付いたI-94をフォームI-9の就労許可を示す目的で使用できかどうかについては触れていません。(そのため、コードの注釈付きI-94をフォームI-9の就労許可を示す目的で使用できるかどうかは、本書執筆時点では、明らかではありません。)改訂が待たれます。

雇用主は、通常、EおよびLの方のフォームI-9をどのように記入するのか？

L-1、E-1、E-2、E-3の方がフォームI-9のために提示する書類を選択する(acceptable combination)にあたっては、通常はリストAに示されるI-94とパスポートの組み合わせを提示されているでしょう。今後は、EとLの扶養配偶者が就労開始しようとするときも、通常この組み合わせ(パスポートと新しいコードの注書き付きのI-94)を提示することになると予想されます。(しかし、上記のとおり、本書執筆時点ではHandbookは更新されておらず、この組み合わせが採用されることには明らかではありません。)(ちなみに、主たるビザ保有者たるEやLの駐在員がビザスポンサーでしか働けないのとは異なり扶養配偶者には勤務先の制限はありません。)従来は、通常、就労許可証であるEADカードが提示されていました。EADカードの発行を受けずとも就労許可があるというこの和解案が認められた変更により、現在取得までに長い時間がかかっているこのEADカードを取得する必要がなくなりますので、これは大きな変更です。もちろん、扶養配偶者のI-94は、主たるEおよびLの駐在員のI-94の期限内に限られます。なお、和解案で指摘されているEADの有効期限の自動延長は、適切なコード注釈のついた新しいI-94を入手できない方を除いて、将来的には稀ケースになると考えられます。

CLIENT ALERT

| Section 2. Employer or Authorized Representative Review and Verification (Employers or their authorized representative must complete and sign Section 2 within 3 business days of the employee's first day of employment. Employers must physically examine one document from List A OR a combination of one document from List B and one document from List C as listed of Acceptable Documents.) | | | | | |
|---|--|---------------------------------------|-------------------------|--|--------------------------|
| Employee Info from Section 1 | | Last Name (Family Name) | First Name (Given Name) | M.I. | Citizenship/Immigr |
| | | SURNAME | FAMILY | | |
| List A Identity and Employment Authorization | | OR | List B Identity | AND | List C Employment Aut |
| Document Title Foreign Passport | | Document Title | | Document Title | |
| Issuing Authority Country Name | | Issuing Authority | | Issuing Authority | |
| Document Number Passport # | | Document Number | | Document Number | |
| Expiration Date (if any) (mm/dd/yyyy) 00/00/20-- | | Expiration Date (if any) (mm/dd/yyyy) | | Expiration Date (if any) (mm/dd/yyyy) | |
| Document Title I-94 (insert new COA for E/L spouse) | | Additional Information | | QR Code - Sections 1 Do Not Write In This S | |
| Issuing Authority DHS or CBP | | | | | |
| Document Number insert I-94 admission # | | | | | |
| Expiration Date (if any) (mm/dd/yyyy) 00/00/20-- | | | | | |

(上記の変更のきっかけである)和解案で述べられた主な変更とは何ですか？

- USCISは、L-2の配偶者は、雇用許可証(EAD)を申請しなくても、L-2としてのステータスに基づいて就労することが認められるというガイダンスを発行することを約束しました。これが認められるというのは、大変大きな変更です。現在、USCISにおけるEAD(I-765就労許可申請)の審査には、8~13.5か月という大変長い時間がかかっているからです。この変更に伴い、L2ステータスに基づいて就労するために(フォームI-9の就労許可確認のために)どのような書類を雇用主に提示することができるかという点が次に問題となります。USCISとCBPは、2021年11月10日(本和解の「発効日」)から120日以内に、I-9のリストCの目的でI-94を提示することができるよう、I-94に注釈書きを付けることとしました。この実施期限(発効日から120日以内)は、2022年3月10日とされましたが、上述の通り、CBPは期限を前倒して、2022年1月31日に、(EおよびLの扶養家族の方についての)新しいCOAコードを発表しました。
- また、USCISは、L-2保持者が、手持ちのEADの有効期限が切れる前にI-765申請(EAD更新申請)を提出した場合、8 CFR§274a.13(d)に基づき、手持ちのEADカードの有効期限が切れた後I-765審査中の間は、就労許可が最大180日間延長されることを認めることを約束しました。とはいえ、I-94の期限までしか就労することは認められません。すなわち、雇用主は、I-94、I-765申請の承認又は却下日、EADの180日自動延長の終了日のいずれか早い日までに、フォームI-9の目的のために、従業員の就労許可を再度確認する必要があります。2021年11月30日、USCISは、この自動延長に関するフォームI-9の記入を明確にする発表(clarification)を行いました。しかし、この時点では、EおよびL2の配偶者の方は、ステータスに付随して雇用許可があるとされることになった後も、USCISが発行する(I-94に関する)書類に変更はないと記載されていました。

本和解の発表後、2021年11月12日、USCISはポリシーアラート(Policy Alert)を発行し、EまたはLの配偶者は、EADの期限が切れる前に延長申請(I-765)を適時に提出することで、上記のような就労許可の自動延長を受けることができると明確にしました。このポリシーアラートの中で、USCISは、自動延長を受けるために必要な書類の組み合わせは以下の3つであると述べています。

- 非移民資格(H-4、E1またはE2、またはL-2)を示すI-94(期限内のもの)
- EADが切れる前に提出されたEAD更新申請書(フォームI-765)のフォームI-797Cで、「Class Requested」が(a)(17)、(a)(18)、または(c)(26)のいずれかに該当することを示すもの。及び
- 期限切れのEADで同じカテゴリー(A17、A18、C26)で発行されたもの。

さらに、ポリシーアラートでは、EとLの配偶者は、そのステータスに付随して雇用許可があることを確認しています。そのため、EADカード(Form I-765)を申請する必要はなくなったはずですが、ここでは、「EADを受け取ることを希望した場合は、引き続きForm I-765の申請をすることができる」と記載されています。

注意！「EADを受け取ることを選択した場合は」とはどういう意味でしょうか？

上記のとおり、USCISもCBPも、まだ新しいCOAコードの注書きが付いたI-94を、フォームI-9の就労許可の目的で使用できかどうかについて、明確にしていません。従って、この要件が更新されるまでは、フォームI-9を完成させるためには、EADが必要となります。なお、2022年1月31日時点で、すでに米国に滞在しているEおよびLの扶養家族は、上記のとおり、一度出国して米国へ再入国することで、新しいCOAコードが付いたI-94を取得できます。2022年1月31日以降に米国に入国するEおよびLの配偶者のI-94には、適切なコードが記載されているはずですが。

この新しいコードがI-94に記載されていない状態で既に米国に入国した配偶者は、CBPの遅延検査(deferred inspection)にI-94コードの注書きの追記を申請できるか？

一部の弁護士によれば、CBPは、CBP事務所(deferred inspections)への申請により、I-94システム内でコードの変更を行うことができるかもしれないと述べていましたが、SEARSは、このような変更はできないと述べました。通常、CBP事務所は、I-94の「間違い」を修正しますが、I-94の発行時には存在しなかった新しいカテゴリコードを記載することはできません。したがって、(メキシコまたはカナダなどへ)出国し、再入国することで、新しいコードの付いたI-94を取得する必要があります。米国への入国は当然常に認められるものではありませんので、他の解決策があると望ましい。例えば、L-1やEの主たるビザ保持者との婚姻を証する公的文書と新しいCOAコードの注書きのないI-94をあわせて示すことでフォームI-9のリストC文書として使用可能とすることも可能だと思われるものの、そのような対応が認められる兆候はこれまでのところありません。

要点 - 配偶者のワークモビリティ

E-1、E-2、E-3、L-2の配偶者は、米国に入国した後EADカードを入手することなく就労することができますが、I-94の注書きコードをよくご確認下さい。労働力不足に悩む会社にとって、EAD申請をする負担がなくなり、より早く労働者を見つけることができるようになります。配偶者の労働許可は、多くの外国人労働者が米国で就労することを可能にします。これは非常に理にかなった方向への変更でしょう。

FOR MORE INFORMATION CONTACT:



Kathleen Campbell Walker is chair of the Immigration Practice Group of Dickinson Wright PLLC and based in El Paso, Texas. She is a past president (2007) and general counsel (2009) of the American Immigration Lawyers Association (AILA). She began practicing immigration law in 1986. In 2014, Ms. Walker received the AILA Founder's Award, given from time to time to the person or entity having the most substantial impact on the field of immigration law or policy. She is board certified in Immigration and Nationality Law by Texas Board of Legal Specialization. In addition, she is recognized in *Chambers USA* (Band One), *Chambers Global* (Band One), *International Who's Who of Business Lawyers*, *Super Lawyers*, and *Best Lawyers in America*. She is rated AV® Preeminent™ in *Martindale-Hubbell®*. In 2014, Ms. Walker received the AILA Founder's Award, given from time to time to the person or entity having the most substantial impact on the field of immigration law or policy.

IMMIGRATION

FORM I-9 UPDATE - L1 AND E1/E2 NONIMMIGRANT SPOUSES ELIGIBLE FOR WORK WITHOUT EMPLOYMENT AUTHORIZATION DOCUMENT – REALLY?

by Kathleen Campbell Walker

During this challenging time for employers in search of workers, U.S. Customs and Border Protection (CBP) and U.S. Citizenship and Immigration Services (USCIS) have managed to cooperate to coordinate a response to the [litigation settlement](#) (Settlement) reached in *Shergill, et. al. v. Mayorkas* announced on November 12, 2021. The Settlement will finally recognize that spouses of L-1 intracompany transferees (L-2) and E-1/E-2/E-3 nonimmigrant visa holders are authorized to work “incident to their status” as spouses of these principal nonimmigrants. This article is limited in scope to the E and L dependent spouses affected.

More recently, on January 31, 2022, CBP’s Systems Enforcement Analysis and Review (SEAR) office confirmed that CBP was applying the following new admission codes to identify spouses of E and L principals for documentation of work authorization.

What are the new approved Category of Admission (COA) codes related to the Settlement being used by CBP?

- E-1S – Spouse of E-1
- E-1Y – Child of E-1
- E-2S – Spouse of E-2
- E-2Y – Child of E-2
- E-3S – Spouse of E-3
- E-3Y – Child of E-3
- L-2S – Spouse of L-1A or B
- L-2Y – Child of L-1A or B

Please note that USCIS is also using these codes when approving a change or extension concerning L or E dependent status, which is stated on the I-94 placed at the bottom of the [I-797](#) approval notice. These codes will only be applied to [new arrivals](#) to the U.S. by CBP.

If I am an E or L nonimmigrant spouse in the U.S. without this annotated I-94 with the new code, how do I get an I-94 with the code?

SEAR officials confirmed that for those requiring an I-94 with the new code, they would have to depart the U.S. and reenter to request the new I-94. Those using the option of [automatic revalidation](#) to reenter the U.S. after a trip of 30 days or less to Mexico or Canada will receive an I-94 electronic admission record with the code via CBP’s online [I-94 website](#). If, for some reason, at the land border, a paper I-94 admission record is issued, the same codes will be used. [CBP recommended that E and L nonimmigrant spouses carry proof of marriage to the principal E or L nonimmigrant at time of applicant for entry to the U.S.](#)

Are these annotations necessary for Form I-9 completion as to work authorization?

Good question. USCIS posted changes to [Volume 10, Chapter 2](#) of its policy manual (PM) related to the Settlement. The PM notes that, “As of November 12, 2021, USCIS considers E-1, E-2, E-3 and L-2 dependent spouses employment authorized incident to status.”

This PM change also specifies that a Form I-94 solely notated with the following types of nonimmigrant statuses: “E-1,”“E-2,”“E-2C,”“E-3,”“E-3D,”“E-3R,” or “L-2,” **IS NOT SUFFICIENT** to serve as evidence of employment authorization.

The *M-274 Handbook for Employers* for Form I-9 completion was [updated on November 16, 2021](#), regarding the Settlement, but this update was done before the creation of the COA codes noted and focused on the automatic extension of work authorization part of the Settlement described below. We obviously need these COA codes addressed by USCIS as to the [Form I-9](#) and [E-Verify](#) sections of the USCIS website.

How do employers typically complete a Form I-9 for E and L nonimmigrants?

When an L-1, E-1, E-2, or E-3 nonimmigrant selects documents from List A, or B and C to present for Form I-9 completion, they will normally present their I-94 admission record and passport to constitute a [List A acceptable combination](#). For dependent spouses, their work authorization eligibility **will not** be limited to a specific employer as required for their associated nonimmigrant principals holding E or L status. We should expect that E and L spouses will also typically present this combination (Passport and I-94 with new code). Note that this scenario shifts from the employer’s perspective from typically seeing an Employment Authorization Document (EAD) (card) for work authorization. So, this change eliminates the long delays to process an EAD by USCIS for these E and L nonimmigrant spouses. Of course, their I-94 will be limited to the validity of their principal E and L nonimmigrant spouse. In addition, the need to address the automatic extension of EAD validity noted in the Settlement will be rare in the future, except perhaps for those unable to obtain a new I-94 with the appropriate code annotation.

CLIENT ALERT

| Section 2. Employer or Authorized Representative Review and Verification | | | | |
|--|------------------------------------|---------------------------------------|------------|--|
| <i>(Employers or their authorized representative must complete and sign Section 2 within 3 business days of the employee's first day of employment. Employers must physically examine one document from List A OR a combination of one document from List B and one document from List C as listed in the Instructions to the Form.)</i> | | | | |
| Employee Info from Section 1 | Last Name (Family Name) SURNAME | First Name (Given Name) FAMILY | M.I. | Citizenship/Immigr |
| List A Identity and Employment Authorization | OR | List B Identity | AND | List C Employment Aut |
| Document Title Foreign Passport | | Document Title | | Document Title |
| Issuing Authority | | Issuing Authority | | Issuing Authority |
| Country Name | | | | |
| Document Number | | Document Number | | Document Number |
| Passport # | | | | |
| Expiration Date (if any) (mm/dd/yyyy) 00/00/20-- | | Expiration Date (if any) (mm/dd/yyyy) | | Expiration Date (if any) (mm/dd/y) |
| Document Title I-94 (insert new COA for E/L spouse) | | | | |
| Issuing Authority DHS or CBP | | | | |
| Document Number insert I-94 admission # | | | | |
| Expiration Date (if any) (mm/dd/yyyy) 00/00/20-- | | | | |
| | | Additional Information | | QR Code - Sections 1 Do Not Write In This S |

As background, what were the major developments referenced in the Settlement?

1. USCIS agreed to issue policy guidance stating that L-2 spouses are authorized to work based on their status as L-2 nonimmigrants without the need to apply for an employment authorization document (EAD). This development was really HUGE. Why? Well, USCIS is severely backlogged as to the adjudication of I-765 work authorization applications for EADs. Right now, applicants can wait for 8 to 13.5 months or longer for approval. The trick here is that employers must be advised regarding what documents are acceptable to prove L-2 status. So, USCIS and CBP were working to achieve within 120 days of November 10, 2021 (the "Effective Date" of the Settlement), an annotation on the I-94 admission record to be presented for List A/C work authorization purposes for Form I-9 completion. The deadline created for this development was March 10, 2022. As noted above, CBP released its COA changes on January 31, 2022, ahead of the deadline.
2. In addition, USCIS agreed to provide that automatic extensions of work authorization will apply to L-2 nonimmigrants under 8 CFR §274a.13(d), who file their I-765 applications before their EAD expires to allow for continuation of work authorization for up to 180 days. The problem here is that the automatic extension is cut short by the expiration of the I-94 admission period. For example, an employer must reverify the employee's work authorization **at the earlier** end date on I-94, the date the I-765 application is approved or denied, or the end of the 180 day EAD auto-extension period. This situation leaves the employer with a very difficult predicament to address, juggling these three factors. On November 30, 2021, USCIS posted a clarification of this change for Form I-9 completion. In this posting, USCIS noted that both E and L-2 spouses are now considered employment authorized incident to status, but that the documentation issued by USCIS for the categories remains the same.

After the Settlement was announced by USCIS on November 12, 2021, USCIS issued a related Policy Alert to clarify that **both** E or L dependent spouses will qualify for the automatic extension of work authorization (as limited in time as noted above) by a timely filing of an extension application (I-765) before the EAD expires. In this Policy Alert, USCIS stated that the necessary combination of documents required to support the application of the automatic extension is:

- Form I-94 indicating the unexpired nonimmigrant status (H-4 or E or L dependent spouse);
- Form I-797C receipt notice for a timely filed EAD renewal application (Form I-765) stating "Class Requested" as (a)(17), (a)(18), or (c)(26), as applicable; and
- Facially expired EAD issued in the same category (A17, A18, or C26).

In addition, the Policy Alert confirmed that E and L dependent spouses are employment authorized incident to their status; and, "therefore they are no longer required to request employment authorization by filing Form I-765 but may continue to file Form I-765 if they choose to receive an EAD."

Wait a minute!! What did USCIS mean - "if they choose to receive an EAD"?

Well, until USCIS and CBP updated their requirements as to acceptable documents to present for work authorization regarding E and L-2 spouses, an EAD would still be necessary with its long delays for the adjudication of the I-765 for Form I-9 completion. Of course, as of January 31, 2022, E and L dependents already in the U.S. have options to obtain a new I-94 with the appropriate category code via reentry to the U.S. or even via an I-539 extension if necessary. For those E and L spouses entering the U.S. on or after January 31, 2022, their I-94 should have the appropriate code.

What about spouses already admitted to the U.S. without this new code on their I-94 applying for an I-94 code reference via deferred inspections?

Some attorneys are reporting that CBP may be willing to make the code change within the I-94 system via request to a CBP deferred inspections office, but this option was noted as not available by SEARS. CBP normally corrects "errors" via access to a deferred inspection office, not to address new category codes which did not exist at the time of the issuance of the I-94 record. So, as noted above, it may be that a solution for some spouses in the U.S. will be departures to Mexico or Canada and requests for readmission to generate an I-94 with the appropriate code. Admission to the U.S. is never a guaranteed situation. USCIS could, of course, also implement an interim solution to allow a marriage certificate and valid I-94 record in L-2 or E status to suffice for work authorization in the interim for spouses in the U.S. as to List C for Form I-9 purposes; but so far, we have no indication of this potential alternative being allowed.

Key Take Aways – Spousal Work Mobility

E-1, E-2, E-3, and L-2 spouses will be able to seek employment upon admission to the U.S. and must carefully check the code on their I-94 record, which will be the key to their documentation of work authorization to an employer or for self-employment for that matter. As to labor shortages, employers desperate for help will have a new pool of available workers much faster and without the bureaucratic delay of the adjudication of an EAD application. For those international companies trying to move international talent to the U.S. temporarily, spousal work authorization as a benefit is a major consideration as well for many recruits/foreign employees to take assignments. It seems USCIS and CBP are doing something that makes absolute sense.

FOR MORE INFORMATION CONTACT:



Kathleen Campbell Walker is chair of the Immigration Practice Group of Dickinson Wright PLLC and based in El Paso, Texas. She is a past president (2007) and general counsel (2009) of the American Immigration Lawyers Association (AILA). She began practicing immigration law in 1986. In 2014, Ms. Walker received the AILA Founder's Award, given from time to time to the person or entity having the most substantial impact on the field of immigration law or policy. She is board certified in Immigration and Nationality Law by Texas Board of Legal Specialization. In addition, she is recognized in *Chambers USA* (Band One), *Chambers Global* (Band One), *International Who's Who of Business Lawyers*, *Super Lawyers*, and *Best Lawyers in America*. She is rated AV® Preeminent™ in *Martindale-Hubbell*®. In 2014, Ms. Walker received the AILA Founder's Award, given from time to time to the person or entity having the most substantial impact on the field of immigration law or policy.